

§1 今後の取り組みについて

「架設時キャンバー」

1. キャンバーの成果によって橋が阻害されるもの。
 - 1) 完成時の美観性（高欄、地覆）
 - 2) 排水性
 - 3) 走行性
 - 4) 死荷重の増減（マイナスキャンバー→死荷重の増）

2. 今後の検討事項。
 - 1) 仮組み立て時の規定はどこから来たのか調査する。
 - 2) 設計上、マイナスキャンバーはいくらまで許容出来るか検討する。
 - 3) 現橋の調査をしてはどうだろうか？（設計図との比較）

3. キャンバーの規格値について。
 - 1) 規格値を設定する方向で検討する。
 - 2) 設定する場合は橋の使用目的（高速道路、一般道、人道橋 e t c）別に規定してはどうか。
 - 3) 設定する場合、まず一般的なRC床版を対象としたい。
 - 4) 理論上、実橋よりデータを収集する。

「仮組立」

「仮組立」については、まずアンケート調査を実施し、問題点の洗い出しと今後の取り組み方について検討する。